



CONTENTS 【目次】

- 1 MISSION STATEMENT 【使命】
- HISTORY 【歴史】
- 3 総長からのメッセージ
- 5 東日本大震災への取り組み
- 9 世界へ発信する研究活動
- 9 「人の行けないところに行く」
宇宙探査機にサイエンスの夢を乗せて 吉田 和哉 教授
- 10 多能性幹細胞「Muse」の発見
再生医療の新しいステージを拓く 出澤 真理 教授
- 11 震災子ども支援室の立ち上げ
培った地域臨床のノウハウで支援 加藤 道代 教授
- 12 遅延型アレルギーを抑制する
新たな細胞「ドレス細胞」発見 小笠原 康悦 教授
- 13 バイオと融合したナノプロセス技術で
革新的なデバイス開発を展開 寒川 誠二 教授
- 14 企業家精神で地域資源をつなぐ
企業イノベーションへの挑戦 福嶋 路 教授
- 15 高分解能光電子分光により
超伝導・スピントロニクス研究に貢献 高橋 隆 教授
- 16 光を皮膚で感じるラットの開発
脳への情報伝達の可能性を広げる 八尾 寛 教授
- 17 受章・受賞
- 19 組織・運営
- 21 教育成果
- 23 学生の活動
- 25 産学連携
- 27 国際交流
- 29 社会貢献・男女共同参画
- 30 萩友会
- 31 キャンパス通信
- 33 東北大学の概要



MISSION STATEMENT

【使命】

東北大学は、建学以来の伝統である「研究第一」と「門戸開放」の理念を掲げ、世界最高水準の研究・教育を創造する。

また、研究の成果を社会が直面する諸問題の解決に役立て、指導的人材を育成することによって、平和で公正な人類社会の実現に貢献する。

HISTORY

【歴史】

東北大学は、1907年（明治40年）に、東北帝国大学として創立し、当初から、専門学校、高等師範学校の卒業生にも門戸を開き、1913年（大正2年）には、当時の政府からの圧力にも屈せず、日本の大学として初めて、3名の女子の入学を許可し、「門戸開放」が本学の不動の理念であることを世に示した。

また、創立に当たって、世界の学界でトレーニングを積んだ若き俊秀が教授として集まったこともあって、研究者が独創的な研究成果を次々と生み出しながら、それを学生に対する教育にも生かすという「研究第一主義」の精神が確立された。さらに、いち早く大学発のベンチャー企業を設立して地域産業の育成を図ったり、日常生活に最も密着した法律である家族法の研究の日本の中心になるなど、世界最先端の研究成果を社会や人々の日常生活に役立てる「実学尊重」の伝統も育んできた。

2011年3月11日に発生した東日本大震災では本学も多大な被害を受けたが、全学を挙げて教育・研究機能の回復に努めるとともに、創立以来の伝統と精神を礎に東北の復興、日本の再生に向けて取り組んでいる。